

体育项目 のことなど

スポーツ種目

日本のテレビドラマ“排球女将（燃えるアタック）”が中国で放送され、人気を呼んだのは1980年代。日本ではそれほど話題になりませんでした。中国ではちょうど女子バレーチームがワールドカップ、世界選手権、オリンピックと立て続けに金メダルを獲得した時期とも重なり、主題歌、台詞、そして主人公の髪型までが流行しました。私の友達も、髪を真ん中で分けて上の方で二つに束ねてお下げにする“蝎子辮儿（サソリ編み）”をまねしてました。それから忘れられないのが、前の東京オリンピックで日本女子バレーチームを優勝に導いた大松博文監督。1964年に中国に招かれ、その熱心な指導は今でも中国の人々の記憶に残っています。

国、地域、時代によって、それぞれ人気のスポーツがあるでしょうが、今の中国では、卓球、バスケットボール、サッカーが人気です。都市部ではほとんどの学校にコンクリート製の卓球台があり（野外ですが）、ラケットとピンポン球さえあればすぐできます。台にネットがない時は、レンガや石を真ん中に置けば大丈夫。バスケットのコートも、だいたいどの学校に1面や2面あって、ボールは先生に貸してもらえます。サッカーは、空き地にレンガを二つ置いてゴールにすればコートに早変わり。プールや体育館が完備された学校はまだ多くないので、これらの競技ならいつでもすぐに行けるのが歓迎されるでしょう。

勉強重視の中国では、親も教員も「そんなことやる時間があったら勉強しなさい！」と言いますが、やはり若者の多くは運動が好き。中国の学校には部活動がないのですが、放課後は自主的にスポーツを楽しんでいます。

また中国では、多くのTV局がスポーツ専門チャンネルを持っているので、好きなスポーツを思う存分見られます。バスケットファンなら、アメリカNBAの試合をすべて見て情報を詳細に把握することができます。2002年から2011年、このチャンネルのおかげで、身長229cmの人気バスケット選手、姚明（ヤオミン）がNBAで活躍する様子を堪能できました。

さて、卓球が中国のお家芸で、世界No.1なのは誰もが認めるところですが、不思議なことに中国人が熱狂するのはサッカーの方です。南米スポーツ独特の熱さがそうさせるのでしょうか。でも中国男子サッカーの実力は高いとは言えず、レベルを上げるために大金を払って海外から指導者を招き、1994年にはプロリーグを立ち上げましたが、なかなか効果が上がりません。だからこそ見捨てられない、応援したい、という気持ちになるのかもしれませんが。中国チームの試合があるたびにたくさんのファンがTVの前に集まって、チャンスを逃すとがっかりし、ゴールが決まると盛り上がり、ミスが出ると呆然とする。スポーツに熱狂するのは、どの国も同じなんです。

さて、今回は卓球とサッカーの話題ですが、一方でおもしろいのが中国語の表現。日本語では一字違えば大違い！ですが、さて中国語はどのようなのでしょうか？



中国有两个体育项目大家根本不用看，也不用担心。

一个是乒乓球，

一个是男足¹，

前者是“谁也赢不了²！”

后者是“谁也赢不了！”

最佩服³的也是这两支球队，

乒乓球队和男足。

一支是“谁也打不过⁴”，

另一支是“谁也打不过”，

——这汉语的表达也是醉⁵了。

1 男足 nánzú：“男子足球”の略。男子サッカー

2 -不了 buliǎo：動詞、形容詞の後につく補語。ここでは、そうなり得ないことを表す

3 佩服 pèifú：感心する。敬服する

4 -不过 buguò：動詞の後につく補語。ここでは、やり遂げられない、かなわないことを表す

5 醉 zuì：もとは酒に酔う。または陶醉する意。最近はネット流行語として、“也是醉了”の形で、「陶醉する」の反語表現として「どう理解していいか、どう対処していいかわからない。あきれた」の意味。皮肉って使う場合もある

*

中国では見なくても試合の結果がわかってしまう、サプライズ性のないスポーツが二つある。

一つは卓球。

もう一つは男子サッカー。

前者は「誰も勝てない」、

後者は「誰にも勝てない」。

「一番すごい」と思うのも、この二つ。

卓球と男子サッカー。

前者は「誰もかなわない」、

後者は「誰にもかなわない」。

——中国語の表現力にはさすがに心酔せずにはいられない。

*「百度贴吧」「卡尔加里新生活」など微信サイトから引用いたしました。

ご意見等ございましたら tokyo@toho-shoten.co.jp までご連絡ください。